

なぞめいた金星の姿をさぐる 探査機「あかつき」 この12月、いよいよ金星到着！

金星は「地球の兄弟星」といわれながら、その本当の姿は、表面温度470℃の地獄のような世界であることがわかっています。しかし、金星がなぜそうなったのか、またその環境を生む大気の詳細は、未だ解明されていないことがたくさんあります。

その謎を探るべく、日本がはじめて今年5月打ち上げた金星探査機が、「あかつき」です。そして、間もなくあかつきが金星に到着しようとしています。

このイベントでは、「あかつき」探査に加わり、金星の謎を調べようとしている若き科学者、今村剛さんをお迎えし、金星を調べることの意義、「あかつき」のすごさ、どのようなことを調べようとしているのかなど、金星と「あかつき」についてのあらゆることを語り尽くします。

そして後半は、金星についてのクイズ大会。皆さんが意外と知らない金星の姿を、クイズを通して楽しく学んでいきます。商品も多数、ひょっとするとここでしかもらえない品物もゲットできるかも！

プログラム

開催日…11月20日(土)

12:30 開場

13:00 第1部スタート

第1部 トークショー「あかつき」とは?金星とは?

今村剛、吉川真、寺蘭淳也

14:20~14:30 休憩

14:30~15:00

第2部 金星クイズ!

15:00~15:15 映画上映

15:15~15:30 終わりのご挨拶

開催場所・アクセス

静岡大学浜松キャンパス システム工学棟 A11教室
浜松市中区城北 3-5-1
浜松駅北口15,16番乗り場から遠鉄バス「静岡大学前」で下車。

イベント詳細につきましては

<http://moonstation.jp/venus10>

をご覧ください。

講師紹介



今村剛 (いまむらつよし)

1998年にJAXA宇宙科学研究所に赴任、現在に至る。火星探査「のぞみ」では探査機と地球を結ぶ電波を用いて大気の構造を調べ、電波掩蔽観測を担当したが、火星到着はかなわなかった。続いて月探査「かぐや」で月の電離層の電波掩蔽観測を担当。現在は金星探査「あかつき」の科学観測のとりまとめ役と電波掩蔽観測を担当している。専門は惑星大気科学で、とくに地球・金星・火星といった地球型惑星の気象に興味がある。



吉川真 (よしかわまこと)

宇宙航空研究開発機構、宇宙科学研究所准教授。月・惑星探査プログラムグループ、「はやぶさ2」プリプロジェクトチームリーダー。「はやぶさ」プロジェクトサイエンティスト。理学博士。1962年、栃木県栃木市生まれ。東京大学理学部天文学科卒業。同大学院卒業。日本学術振興会の特別研究員を経て、1991年からは郵政省通信総合研究所に勤務。1996年にはフランスのニース天文台に1年間派遣。1998年に文部省宇宙科学研究所に異動。2003年10月からは、組織の統合により現在に至る。専門は天体力学。



寺蘭淳也 (てらそのじゅんや)

1967年東京都生まれ。名古屋大学卒。東京大学大学院博士課程中退。宇宙開発事業団、宇宙航空研究開発機構、(財)日本宇宙フォーラムを経て、現在会津大学先端情報科学研究センター助教。専門は惑星科学、情報科学。月・惑星探査を中心とした情報システムの構築などを専門としている。また、月・惑星探査の普及啓発などにも努めている。著書は「イケナイ宇宙学」(楽工社、2009年、共訳)、「謎解き超常現象II」(彩図社、2010年、共著)など。



お申し込み

moonstation.jp@gmail.com
宛にメールをお送りいただくか、0242-37-2527あてFAXをお送り下さい。お名前、及び人数をお書き下さい。

お問い合わせ

会津大学寺蘭研究室
0242-37-2798または上記のメールアドレス。

入場時は守衛所で受付を済ませてください。